

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	01	104690	スポーツ大会・合宿誘致推進事業
総合計画	分野				
	政策	3-4	スポーツの振興		
	施策	3	大規模スポーツ大会の開催		
目的	スポーツ大会・合宿誘致に向けた支援を行う。				
対象	はなまきスポーツコンベンションビューロー、花巻市体育協会				
意図	交流人口の拡大を図り、スポーツに接する機会を提供する。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
	①はなまきスポーツコンベンションビューロー負担金の支出 ②スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金の交付 ③スポーツ合宿支援事業補助金の交付				
市民参画の有無	【 対象外 】				
市民協働の形態	共催	<input type="radio"/> 実行委員会・協議会		事業協力・協定	
	後援・協賛	<input type="radio"/> 補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 全国規模のスポーツ大会誘致件数		計画	6	6	6
		実績	4	7	
② スポーツ合宿誘致件数		計画	6	6	6
		実績	4	10	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 大規模スポーツ大会・イベントの入込者数		目標	192,000	195,000	198,000
		実績	116,742	133,911	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		<input type="radio"/> 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載） 平成28年度に希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に向けて各競技団体が競技強化のための試合や合宿が行われ、その影響もあって入込者数も増加した。 通常大規模大会は、前年若しくは前前年に会場を確保し、開催に向けて準備を進めるが、平成29年度はその準備ができなかったこともあり、大幅に入込者数が減少したが、平成30年度は目標値には届いていないものの幾分持ち直した。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない 高速交通網の利便性や全国有数の温泉宿泊施設、充実したスポーツ施設などの地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致により、交流人口の一層の拡大を図る必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない 一般財団法人花巻市体育協会や市内競技団体等で構成するはなまきスポーツコンベンションビューローを核とし、スポーツを通じた交流人口の拡大を図る必要がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない 大規模スポーツ大会・イベントやスポーツ合宿の誘致や開催支援を先導しているスポーツコンベンションビューローは、市体育協会に事務局を置き、各競技団体や中央競技団体等との連携により少人数での運営に努めている。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である 花巻市の地域特性を生かし、大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿等の誘致により、一層の交流人口の一層の拡大を図る必要がある。
総合評価 …上記評価結果の総括 交流人口の拡大や地域経済への効果、競技力の向上を図るため、はなまきスポーツコンベンションビューローを設置し、インターネット等による情報発信や各種大会の誘致、開催支援を行った結果、大規模スポーツ大会・イベントの入込者数が20万人近くを推移するようになった。 全国大会の誘致については、2～3年以上前に決定されることがほとんどであり、旅行会社との情報共有や県南市町村等広域的な誘致活動など人的ネットワークをフルに活用し、国体以降のさらなる誘致が必要となる。	
平成30年度の開催支援実績（全国規模・主な合宿） ・第6回イーハトーブ花巻ハーフマラソン大会 ・第27回全日本実年ソフトボール大会 ・第15回ジョイフルスローピッチソフトボール全国大会 ・第32回全国スポーツ祭典シニアサッカー大会 ・アルティメット2018U-23全国地区選抜対抗戦 ・日本ハンドボールリーグ ・Vリーグ 女子ファイナル ファイナル8 ・合宿（日本代表ボート、野球、アイスホッケーほか）	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	01	104690	スポーツ大会・合宿誘致推進事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		6,420	6,922		502
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,420	6,922		502

※特定財源の内訳

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

スポーツの振興

事業開始の背景・経緯

平成23年2月14日：はなまきスポーツコンベンションビューロー設立  
スポーツツーリズムを推進する団体としては、全国でも相当早い段階で設立した団体である。

事業概要

- ①はなまきスポーツコンベンションビューロー負担金の支出
- ②スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金の交付
- ③スポーツ合宿支援事業補助金の交付

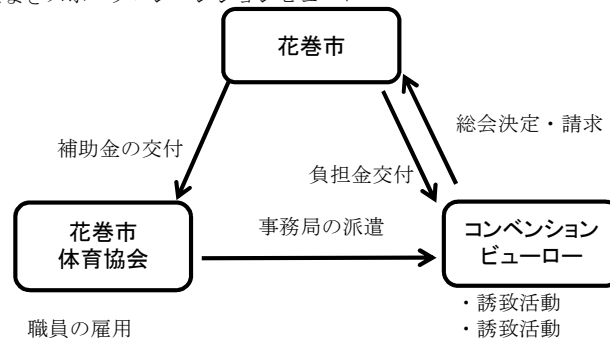
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 438

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

● はなまきスポーツコンベンションビューロー



- ①スポーツコンベンションビューロー負担金 1,930千円  
大規模なスポーツ大会やスポーツ合宿を誘致し、交流人口の拡大、スポーツに接する機会を提供する。

【主な活動内容】

- 情報発信：ホームページ、フェイスブックの活用、スポーツ大会情報掲載34件
- 誘致活動：旅行会社訪問10社、旅行会社及び大学現地調査招待2社1団体、台湾スポーツ選手誘致2名、いわて合宿相談会及び合宿計画協議3回2団体
- 支援活動：スポーツ大会開催支援（宿泊、弁当の手配）4事業、合宿支援（宿泊施設、弁当業者の紹介等）8団体

コンベンション全体の支出（2,835千円）

- 報償費 509（旅行エージェント等来花記念品、合宿団体物産提供等）
- 旅費 823（旅行エージェント招待、首都圏誘致活動等）
- 需用費 599（印刷製本費、消耗品費等）
- 役員費 42（通信運搬費）
- 賃借料 433（招待者タクシー代）
- 委託料 249（HP管理、誘致大会歓迎看板等）
- 負担金 180（体育協会事務負担）

- ②スポーツ合宿補助金 644千円  
対象：県外の大学等団体が市内スポーツ施設及び宿泊施設を利用する合宿  
補助額：交通費20,000円～50,000円（距離に応じる）、宿泊費500円（1人1泊）  
※上限 1団体400千円 実績：東京経済大学硬式野球257、帝京大準硬式野球187  
東京大アイススケート200
- ③スポーツ大会・合宿誘致推進事業補助金 4,174千円  
コンベンションビューロー事務局職員人件費（2名分）、事務経費
- ④大会・合宿誘致推進事業に係る職員旅費 174千円【新規】ポート協会他打合せ 年3回

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	06	02	104740	スポーツ施設環境整備事業(総括表)	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-4	スポーツの振興			
	施策	3	大規模スポーツ大会の開催			
目的	スポーツ施設環境整備を行う。					
対象	市民、全国の都道府県代表選手団					
意図	快適な利用環境を整えとともに、大規模大会に備える					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○スポーツ施設改修・整備 26件 ・各施設の計画修繕（鉛温泉スキー場第1ペアリフト整備業務 外11件） ・各施設の工事等設計業務委託（市民プールプールサイド改修工事設計業務 外1件） ・各施設の業務委託（日居城野運動公園公衆トイレ洋式化業務 外5件） ・各施設の備品購入（花巻球場備品購入 外1件） ・湯川地区社会体育館 耐震補強工事 外1件 ・矢沢地区社会体育館 下水道接続工事 外1件						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 ○委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	施設整備件数	件	計画	2	2	
			実績	11	10	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	施設利用者数	人	目標	750,000	750,000	
			実績	702,980	678,639	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○ 概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
施設利用者数については、国体開催年（平成28年度）のピークから減少傾向であるが、おおむね目標値どおりの利用者数となった。 今後においても、大規模大会や合宿を誘致し、交流人口の拡大を図るとともに、各種大会に参加する市民等が快適に施設を使用できる環境を整備していくものとする。	
目的妥当性	<b>公共関与の妥当性</b> <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない 多様化する市民のスポーツニーズに応え、市民が生涯にわたり、年間を通じて気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりが求められている。今後においても、各種大会等の開催に向けて様々なスポーツ施設の環境整備は必要である。
有効性	<b>成果の向上余地</b> <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 利用者アンケートを反映させることにより、市民ニーズにマッチした施設整備を図ることによって、市民がよりスポーツを行う機会の増加を図れる。また、大規模大会を開催できる施設を整備することによって、施設利用者が増加することにより、交流人口の拡大が図られる。
効率性	<b>事業費・人件費の削減余地</b> <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない 施設利用状況に応じて必要最小限の整備を行っているが、大規模大会等を誘致できる施設を整備するためには、最大限の施設整備も必要となる。
公平性	<b>受益と負担の適正化余地</b> <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である 市民が生涯にわたり年間を通じて気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを進めるため、市内スポーツ施設の整備や改修を行う必要がある。また、大規模大会等の会場として競技会場の整備費を負担することは適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括	
今後についても、今までと同様に各競技団体や各施設利用者の声を反映していくという形でスポーツ施設の環境整備を図っていくものである。 湯川地区社会体育館の耐震補強工事（プレースを太いサイズに交換、接合ボルトの本数を増やす）を実施し、指定避難所として十分な耐震性能を確保した。 矢沢地区社会体育館の下水道直結化工事を実施し、公共施設として率先した接続を図った。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	02	104740	スポーツ施設環境整備事業(総括表)

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		72,563	59,050		△ 13,513
財源 内訳	国・県				
	地方債		23,400		23,400
	その他	4,523	300		△ 4,223
	一般財源	68,040	35,350		△ 32,690

※特定財源の内訳

辺地債	9,000千円 (鉛温泉スキー場分)
寄付金	300千円 (花巻球場備品分)
合併特例債	14,400千円 (湯口・矢沢地区社会体育館分)

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

スポーツの振興

事業開始の背景・経緯

スポーツ施設の効果的な利用環境を整えるため、計画的な施設の改修、整備を図るとともに、岩手国体後(レガシー)の施設整備を行っている。また、スポーツによる交流人口の拡大や地域経済への波及効果の向上を図るため大規模スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致を行っている。

事業概要

- スポーツ施設改修・整備 26件
- ・各施設の計画修繕(鉛温泉スキー場第1ペアリフト整備業務 外11件)
- ・各施設の工事等設計業務委託(市民プールプールサイド改修工事設計業務 外1件)
- ・各施設の業務委託(日居城野運動公園公衆トイレ洋式化業務 外5件)
- ・各施設の備品購入(花巻球場備品購入 外1件)
- ・湯口地区社会体育館 耐震補強工事 外1件
- ・矢沢地区社会体育館 下水道接続工事 外1件

意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)

老朽化の著しい施設の改修を行い、安全に利用できるスポーツ施設環境を整備する。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 阿部 靖 内線 292

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

		(単位：千円)
花巻球場	フル2線式リモコン設備修繕業務	3,024
	ホームランゾーン識別マット撤去設置業務	1,274
	備品 バッティングゲージ式	1,123
日居城野運動公園	藤棚修繕業務委託	2,214
	ベンチ修繕業務委託	3,326
総合体育館	公衆トイレ洋式化業務委託	3,240
	陸屋根防水修繕	1,274
市民プール	プールサイド改修工事設計業務委託	2,452
	プール再公認申請業務	77
鉛温泉スキー場	第1ペアリフト整備業務	8,046
	スキーセンター改修工事設計業務委託	1,048
石鳥谷アイスアリーナ	冷凍機オーバーホール	1,156
	ブラインポンプ更新	2,862
	音響機器設置業務委託	2,320
二枚橋体育館	屋根塗装修繕	3,672
	スチールドア出入口塗装修繕	197
東和B&G海洋センター	屋根等塗装修繕	3,132
	田瀬湖ボートコースワイヤーウインチ交換修繕	410
	浄化槽チェッカープレート修繕	1,836
	雨樋設置業務	486
	モーターボート船台製作業務	428
湯口地区社会体育館	備品 スタンドアップパドルボード4艇	279
	耐震補強工事実施設計業務	1,447
	耐震補強工事	10,509
矢沢地区社会体育館	下水道接続工事設計業務	378
	下水道接続工事	2,840
合計		59,050

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	02	104750	田瀬湖ボート場環境整備事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-4	スポーツの振興		
	施策	3	大規模スポーツ大会の開催		
目的	スポーツ施設環境整備を行う。				
対象	市民				
意図	快適な利用環境を整えとともに、大規模大会等に備える。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○スポーツ施設改修・整備	・田瀬湖ボート場 艇庫（宿泊施設）の備品等の整備 倉庫新築工事（設計監理含む）				
市民参画の有無	【 対象外 】				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
	後援・協賛		補助・助成	○ 委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 整備施設数		計画	1	1	
		実績	1	1	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①		目標			
		実績			
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載） 施設の環境整備が目的であり、活動指標のみとなります。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括 平成28年度の希望郷いわて国体や2020オリンピックの日本代表合宿ために施設の整備を図ってきたところである。 これからも、今まで整備してきた施設と今後改修等が必要な施設も含めた施設の環境整備を行い、施設利用者が計画のとおり推移するよう見込み今後も同程度となるよう計画するもの。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	02	104750	田瀬湖ボート場環境整備事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		76,666	52,082		△ 24,584
財 源 内 訳	国・県	36,234			△ 36,234
	地方債	37,600	41,700		4,100
	その他				
	一般財源	2,832	10,382		7,550

※特定財源の内訳

辺地債 41,000千円

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

スポーツの振興

事業開始の背景・経緯

スポーツ施設の効果的な利用環境を整えるため、計画的な施設の改修、整備を図るとともに、岩手国体後（レガシー）の施設整備を行っている。また、スポーツによる交流人口の拡大や地域経済への波及効果の向上を図るため大規模スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致を行っている。

事業概要

○スポーツ施設改修・整備

- 田瀬湖ボート場 艇庫（宿泊施設）の備品等の整備  
倉庫新築工事（設計監理含む）

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 438

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

H30事業費		(千円)
田瀬湖ボート場環境整備		(52,082)
艇庫 宿泊施設改修に伴う整備(消耗品)		396
倉庫新築 工事監理等(委託費)		2,570
倉庫新築 工事		40,544
艇庫宿泊施設への改修に伴う備品整備		8,572
計		52,082

艇庫(宿泊施設)

- ボート日本代表及び高校大学合宿に必要なトレーニング機器の購入  
備品：トレーニング機器（パワーラック、レッグプレス、エルゴメーター等18点）  
7,357千円
- 合宿に必要な機器等の購入  
備品：洗濯機3台、乾燥機2台、テレビ1台、DVDプレーヤー1台、ジャーボット2台  
電子レンジ2台、スープジャー2台、テーブル20台、イス40脚  
1,215千円  
消耗品：396千円

○艇庫2階屋上手摺等の設置業務委託

アルミ製手摺設置、人工芝敷き込み 委託料：1,382千円

倉庫

- ボート及びボート場備品用倉庫の新設工事を行った。  
敷地面積：556.02㎡ 建築面積186.26㎡ 延床面積168.26㎡  
施設構造：鉄骨造平屋 工事期間：平成30年6月30日～12月26日  
工事監理 1,188千円  
建築工事 34,820千円  
電気設備工事 3,942千円 } 40,544千円  
機械設備工事 1,782千円 }  
計 41,732千円

※辺地対策事業債

倉庫新築設計管理1,188+倉庫新築工事40,544=41,732×100%=41,732千円  
10万円未満切り捨て ≒ 41,700千円